

BSOの 情報てんこもり

2014年 8月27日号

制作・発行：(株)BSO 支援企画部

TEL：(06)6351-5836

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

◆ホーチミンマンガ研究所開所式

漫画製作会社のファン・ティ社が中心となり、ベトナムでマンガ・アニメーション技術向上のための公的なマンガ研究所が設立されました。それに伴い、8月4日開所式が行われ、次のお話をしました。

◎「伝える」ということにおいて、「漫画（マンガ）」が大きな役割を果たします。現代ではより多くの人に、



短時間で内容の濃い話し・想いを伝えることが重要となり、また、仕事をする上では上手に伝えることは必須です。そのような中で、「マンガ」は「伝える」のに最良のツールと言えるでしょう。

◎ビジネスの社会での可能性では「学ぶ」方法として「マンガ」の役割は大きくなります。仕事ができる人は沢山のことを学んでおり、日本では「仕事の仕方」を「学ぶ」ための色々なマンガが出てきています。そして「人を動かす」道具として、瞬間的に「伝えたい」ことが増えており、「進入禁止」などのように記号化されるが、「工事現場のお詫び」などのマンガ看板のように情報量の不十分さを補うためアイキャッチ・マンガ化されることが増えていきます。日本のマンガ・アニメが時代を変えましたが、マンガ・アニメが21世紀の人間社会を変えるし、人類の文化を創るでしょう。「マンガ研究所」は身近にも未来的にも大きな役割を果たすことになるでしょう。 (西山)

◆ベトナムでの活動報告

医療介護ビジネス、香木ビジネス、化粧品関係、燕の巣ビジネスなど、様々なビジネスが具体的に動き出してきました。

また、現地のVCCI交流研究大会では、会場に入りきれないほどの参加者が来られ、入場をお断りするほどでした。講義では、「日本企業と付き合える必須要件」をテーマに、時間を守ることや信頼関係の維持に努めることなど90分ほど話をしました。基本的なことですが、日本企業と付き合い方上では最も重要なことだと話をしました。終了後は相談時間を設け、ベトナム経営者の悩みや、事業への取組み意識の強さを感じることができて、とても良かったです。 (西山)



◆人財（人材）を活かすポイント

二極化する人財（人材）の中で経営する時代になっています。仕事するために会社に来ているのではなく、お金をもらうために会社に来ている就給社員の場合がほとんどです。この人材をいかに動かせるかが問われます。

人を動かす人財は就社社員となることが多く、この種の人財が管理者になりますが、価値観などが多様化複雑化する現代人を動かすことが出来ない人が増えています。

人財（人材）を活かすためには、就給社員をいかに生かし使える就社社員を確保育成するかが現代の課題です。

◆カクイ株式会社がベトナムで販売契約締結

同社はHIEP A会社の子会社SONG LONG HANG Co., Ltdと衛生材料の販売契約を締結しました。



まず、ホーチミン市の大病院から商品納入を始め、反応・効果を見ながら、順次周辺の病院に納入していきます。

◆喜多猿八のうまいもん食らぶ

7月は「ニューピオーネ」、
「小原紅早生（ハウスミカン）」が届きました。ニューピオーネは、種がなく大粒で紫黒色のぶどうです。濃い味で程よい酸味と強い甘み、すっきりとした



後味、抜群の香りなどバランスのよい品種です。ビニールの屋根をかけて栽培して水分を減らすことで甘く育てています。小原紅早生（おぼらべにわせ）は香川県発祥のオリジナルミカンで長年の経験を生かし、ハウス内で水分や温度を徹底管理しています。小原紅早生とは、昭和47年に瀬戸内海に面した五色連山の麓で見つかった「宮川早生」



という品種が枝変わりしたものだと言われており、糖度が高く、濃厚な甘みが魅力で、果皮が濃い紅色のため「金時みかん」ともよばれています。

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動（受託事業・企画事業・出版事業）のタイムリーな情報をいち早く多くの方々にご提供いただく為に発信しております。（お問い合わせはshienkikaku@bso.co.jpまで）

